

授業概要

南アジアの地域的特徴を、主に歴史学的な視点から理解することを目的とする。具体的には南アジア地域の地理的特徴や歴史的背景、および当該地域における民族、宗教、植民地経験、国際関係といったトピックに注目することによって、南アジアの社会と文化について講義する。そして最終的には、地域文化研究とはどのような学問なのかを理解する。

授業計画

第1回	インダス文明
第2回	ヴェーダの思想
第3回	数学的思想のはじまり
第4回	伝統医学
第5回	食文化
第6回	紅茶と世界史
第7回	砂糖と世界史
第8回	民族衣装
第9回	インド綿
第10回	伝統音楽、古典舞踊の歴史
第11回	藩王国
第12回	分離独立①
第13回	分離独立②
第14回	核のアパルトヘイト
第15回	アフガニスタン
第16回	筆記試験

到達目標

現在、南アジア地域に生じている問題が、歴史にどのような経過で生じたのかを理解する。

履修上の注意

南アジアの事例が中心となるため、アフリカに関してはイスラームの伝播との関係でふれるのみにとどまるので注意すること。

予習復習

シラバスに従って基本的な知識を予習する。講義後は、配布されたプリントと参考文献などを読んで知識を深めておくこと。

評価方法

授業中の態度、授業後に回収するリアクショペーパーの内容が50%、学期末の筆記試験50%として総合的に評価する。

テキスト

テキストは使用しない。授業中にプリントを配布する。参考文献は適宜紹介する。